

## 久しぶりの大雨



6月4日は、久しぶりの雨となりました。こちらに赴任しましてからほとんど雨が降らず、毎日いい天気が続いていましたが、今回はびっくりするほどの豪雨でした。保護者の皆様にはご心配をおかけしました。当日は午後の補講も計画していましたが、大きな事故や怪我もなく無事に学習することができました。改めてゴールドコースト校の先生方のチームワーク、保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

### 【今月号の話題】

1. 1年生2クラスに
2. 避難訓練
3. 全校朝会スピーチ
4. 特集〔理科学習日〕



## 1年生2クラスに・・・ようこそ、板橋明美先生!



入学時30人でスタートした1年生。1年生は、先生との「距離感」が大切と考え、少人数編制にできないか検討を重ねて参りましたところ、この度運営委員会の了承を得ることができ、5月28日より2クラスとしました。

1年1組は、これまで通り橋本福子先生。1年2組は、板橋明美先生です。

板橋先生は経験も豊富で、名前の通り明るく熱心な先生です。今後、時には大人数のよさも生かして、2クラス合同で授業することも考えています。これからも、どうぞよろしくお願い致します。



## 避難訓練 一中学生が憧れられる存在になること、それが目標です

6月11日に、体育館の工事現場から出火したと想定し、避難訓練を実施しました。全校朝会時に、「今日のテーマは、真剣にすること」と伝えておきましたが、避難場所に一番に到着した中2の生徒たちは、おしゃべりもなく、立派な態度で避難してきました。中学生が模範を示してくれると、小学部・幼稚部の子たちもそれを見習います。これからも、よき手本となってくれることを期待します。尚、避難完了まで、3分21秒。合格です!



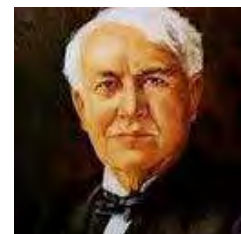
## 6月11日全校朝会スピーチより 【中3 富岡せりなさん】

今日から理科の授業が始まりますね。楽しみですか。理科といえば、トーマス・アルバ・エジソンという人を知っていますか。エジソンは、生涯におよそ1300もの発明をした人です。また、人々の生活を一変させるような重要な発明をいくつも行ったことでも有名になりました。その中でも、最も知られている発明は、蓄音機、白熱電球や活動写真です。エジソンは成功した人物として知られているけれども、その一方で、1300の発明と同じくらい、あるいはそれ以上の数々の失敗を経験していました。ですから、みなさんも何か失敗しても、あきらめずに頑張ってください。

### <エジソンの名言から>

私は失敗したことがない。  
ただ1万通りのうまく行かない方法を見つけただけだ。

私たちの最大の弱点は諦めることにある。  
成功するのに最も確実な方法は、  
常にもう一回だけ試してみることだ。



## 今回は「理科・生活科」学習日特集です！

今年から始まった理科学習。作ったり、観察したり、考えたり。どの学年もとても楽しそうでした。先生方もしっかり準備して臨みました。今回は6月11日の様子を集めてお届けします。



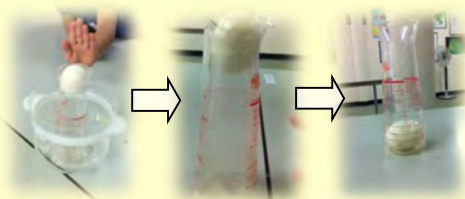
一生懸命準備してくれた、先生方に感謝しています。

### 【幼稚部】「空気ってなあに？」

私たちの周りには、見えないけれど空気というのがあるって生きているんだよね。シャボン玉や風船を使って空気の存在を感じてみたよ。空気って温めるとふくらんで、冷たくすると縮むんだって！

卵の実験で、卵が瓶に入ったり、出たりする様子を観察したよ。

最後は、すっぽり入っちゃった。



### 【小1年】単元名「空気を感じる、捕まえる」「落ち葉や枝で絵を描こう」

目に見えないけれど、生きていく上で大切な空気。どうやれば、空気を目で見ることができるか考えました。

- 冬の寒い日の白い息
- うちわで扇いで風で感じる
- 深呼吸して胸やお腹が膨らむので感じる
- ビニール袋で捕まえる

子ども達から、いろいろなアイディアが出てきました。

6時間目に取り組んだ「落ち葉アート」では、工夫を凝らした作品ができました。



さあ、息をいっぱい吸って見てごらん！

### 【小2年】単元名「うごくうごく わたしのおもちゃ」

2年生は、「ぴよんウサギ」を作りました。紙コップと輪ゴムで作るおもちゃです。高く跳ばすにはどうしたらいいか、みんなで話し合い、輪ゴムのかけ方や輪ゴムの数を工夫しました。とばし方にもコツがありました。

出来上がりは、女子は「よく跳ぶかわいいうさちゃん」、男子は「よく跳ぶバズーカ」になりました。(笑) みんなで知恵を出し合ったとても楽しい「生活科」でした。



### 【小3年】単元名「植物をそだてよう」

2週前にさやえんどうの種を3つ、ひまわりの種を3つ、カップ1つを配布しました。子供達は家で植え、今日それを持参して登校しました。観察日記には、発芽した時とその一週間後の2回、絵、サイズ、気づきなどを書きました。

今日はそれを元に、発芽までの日にち、発芽時の形、気づきについて話し合いました。中には発芽しなかった児童もいましたが、水のやりすぎが原因だったようです。でもそのお陰で発芽しない原因についても話し合う事が出来ました。

最後に、友達の植物観察をした後、野菜の種5種類を渡し、観察カードを書いて終了しました。今日の学習を生かして、配布した野菜の種がうまく育つといいですね。



### 【小4】単元名「閉じ込めた空気と水」

まずはゴミ袋に皆で空気を閉じ込めてみました。口を縛るのに苦労している子供もいましたが、なんとか閉じ込めて手触り確かめました。さらにジムボールに空気を入れて座ってみて、形が変わる様子から、空気の体積は変わるのかと考えました。

次にプラスチックの注射器を、ゴムの上でどこまで押せるか確かめました。また弾を強く飛ばすことができる空気銃では、閉じ込められた空気は押されるとどうなるのかを考えました。

また、ほとんどが空気できているマシュマロを注射器の中に入れてみて、形がどうなるかも確認しました。さらに水ならどうなるか、外テーブルの上で注射器を押してみても、形が変わるのか見てみました。

最後は、水鉄砲のように水が飛ぶのはどうしてかなど考えながら、水を飛ばしてみました。子供達は、理科の授業後、「理科最高!」「毎週理科ならいいのに〜」と言っていました。



### 【小5年】単元名「種子の発芽」

5年生は、種の発芽における「発芽の条件」と「発芽と栄養」を学習しました。学習にあたり、3班に分かれ、班ごとに内容の異なる実験課題をご家庭で3週間してもらいました。授業では、各班で実験結果をまとめ、発表しました。それによると、発芽には、「水」「空気」「発芽に適した温度」が必要であるという結論に達しました。その結果を受け、校長先生が作詞作曲された「種の芽の出る歌」を披露してくださり、子供たちも一緒に歌いました。

続いて、「発芽に必要な養分」が種子の中にあるのかを調べるため、「ヨウ素でんぷん反応」実験を行いました。発芽前の種子では、ヨウ素でんぷん反応がおきましたが、発芽後の子葉においては反応が小さかったです。これにより、発芽に必要な養分は種子の中の子葉にあり、その養分を使って、発芽し成長したことを学びました。

また、でんぷんは「白米」の中にあることも同実験にて確かめました。



### 【小6年】単元名「ものの燃え方」

「お誕生日会などで、ケーキのろうそくに火をともし、ふーっと吹き消した経験がみんなあるでしょう。ろうそくが消えるのはどうしてでしょう。また、ろうそくが燃え続けるにはどのようにすればよいのでしょうか。」こんな出だして、理科の授業は始まりました。

物が燃え続けるのには空気が必要です。空気といっても、空気の中には、窒素や酸素、二酸化炭素が含まれており、その中でも、ものが燃えるのには、酸素が必要だということを学びました。また、ものが燃えたあとの空気は、酸素の一部が使われて減り、二酸化炭素がふえているという状態を、石灰水を使ってグループごとに検証しました。

透明な石灰水がだんだん白く濁っていく様子を観察して、「わー、本当に色が変わってきた〜」「カルピスみたい…」という声が聞こえてきました。次回の理科の授業では、どんなことができるかな？



### 【中1】単元名「ものの見え方、光の反射」

あいにくのお天気で太陽の光を集めることはできませんでしたが、教室を暗くして、丸い穴が平行にあいた筒を光がまっすぐ進むことや、ブラインドに見立てた切り紙を光がどのように進むか調べました。

メインの実験では鏡に写った物体に光をあてて光が鏡でどのように反射するのかその道筋を調べました。自分たちで光の道筋に印をつけて線を書き、それを透明なシートに書き写しました。入射角と反射角を知り、それぞれが積極的にその関係を調べ、結果をワークシートにまとめることができました。

身近な出来事（物体の見える仕組み）に興味を持ち、みんなで協力し、わいわい言いながら楽しく実験に取り組み、規則性を見出すことができました。



### 【中2・3】単元名「静電気」

今回は、身近なもので静電気を発生させ、いろいろな実験を行いました。その中で、反発し合う力、引き合う力を実際に見ることができました。静電気をためる装置「ライデン瓶」の実験は残念ながらうまくいきませんでした。「エジソンのような気持ち」を味わうことができたかな・・・とも思います。日常生活を思い出しながら、「どんな場面で静電気を感じることもあるか」、「静電気を防ぐ方法は？」などについても論理的に考える事ができました。



#### 【授業後の生徒の感想】

- ・ グレイさん「楽しかった。いろいろな静電気の作り方を知りました。それに中3の人たちともやったので良かったし、いっぱい学びました。」
- ・ ケイリーさん「失敗もしたが、風船が動いたり、ストローにくっついたり、ストローが回転したりとてもおもしろかった。静電気が生じると風船は動くことがわかった。」
- ・ 心くん「ぼくは、ライデン瓶が成功しなかったので少し悔しかったです。もっと静電気のことを知りたいと思いました。」
- ・ 吏生くん「いろんなものをこすり、自分から静電気を起こすことができると、わかりました。どうやって静電気を防ぐのか、いろいろな考えがあることもわかりました。静電気が起こる原因がわかるようになりました。」

【 編集後記 】

いかがですか。どの学級も楽しそうでしょう。

ある先生からの報告の中に、こんなコメントがありました。

今回、私自身も初めての理科の実験で、どんなことができるのか、と試行錯誤でした。

事前に自宅で試しにやってみた実験がうまくいかなかったり、道具の具合がよくなかったり、自作の装置の方が使いやすかったり試行錯誤を繰り返し、結果にたどり着く。これこそが理科の醍醐味だな・・・などと一人で納得していました。

この言葉からも、先生方の思いや、がんばり、そして先生自身も楽しんでいる様子がわかりますね。一回の授業をするのに、家で予備実験をしたり、道具をあれこれ考えて準備したり、試行錯誤されています。本当にありがたいです。

ひょっとしたら、先生たちが一番楽しんでいたかもしれません。そんな先生方の様子を見ながら、

「教える人が楽しいと感じてわくわくしている授業は、きっと子ども達も楽しいな」・・・と、教育の原点を見る思いがして、また勉強させてもらいました。

先生方、ご苦労様でした。さあ、次はどんな授業になるのかな。楽しみにしていますよ！

(クイーンズランド補習授業校長 清村幸一)